

浜の壁新聞 ～ 浜から、海から ～

【宮城県漁業士会中部支部：情報発信・受信ニュースレター】

宮城県漁業士会中部支部の新執行部が誕生しました！！

平成 26 年 3 月 12 日に開催された平成 26 年度宮城県漁業士会中部支部通常総会において、平成 26～27 年度を任期とする新役員が選出されました。新役員の選ばれた皆さんを御紹介します。



役 職	氏 名	所 属
支 部 長	①西條 幸正	北上町十三浜支所
副 支 部 長	②高橋 陽一	雄勝町東部支所
	⑥阿部 一弘	石巻市東部支所
理 事	鈴木 公義	女川町支所
	④須田 稔樹	表浜支所
	⑤細川 泰宏	石巻地区支所
	阿部 悟	石巻市東部支所
	③丹野 善一	石巻湾支所
監 事	⑦須田 えみ	石巻地区支所

※鈴木公義理事、阿部悟理事は写真撮影時に不在のため、写真はありません。

西條 幸正 支部長 (平成 18 年第 90 号指導認定)

私は北上町十三浜支所の大指地区で、ワカメ・コンブ養殖を営んでおりますが、今年は値段も安く苦しい状況にあります。大震災による津波で、多くのものを失いましたが、失ったものを海から取り戻すくらいの意気込みで頑張っていく所存です。

この度、宮城県漁業士会中部支部の支部長に就任いたしました。会員の皆様も忙しい毎日を過ごされていることと思いますが、健康には十分に留意しながら、漁業の復興に向け頑張りましょう。また、漁業士会においても、会員間で様々な意見を交換し、助け合いながら、漁業士会活動を一緒に盛り上げて参りましょう。

会員の皆様には、引き続き、漁業士会中部支部活動には積極的に参加していただくなど、運営への御理解・御協力をお願いします。



高橋 陽一 副支部長 (平成 22 年第 114 号指導認定)

この度、宮城県漁業士会中部支部の副支部長に就任しました高橋陽一です。

私の地域(雄勝)は、住民自体が少なくなり、繁忙期の人手不足など、厳しい状況が続いております。まずは目先の仕事を着実に精一杯こなすことが大事であると考えています。西條支部長をはじめ会員の皆様と協力しながら、皆さんの漁業活動、漁業士会活動が少しでも前進するよう尽力していきたいと思っております。



阿部 一弘 副支部長 (平成 22 年第 115 号指導認定)

今回、宮城県漁業士会中部支部の副支部長に就任しました阿部一弘です。

私はカキ養殖を営んでおります。震災後、大きく変化した宮城の海ですが、養殖施設が復旧し、カキ処理場も整備されたことで、徐々に震災前の生産を取り戻しつつあります。ただ、未だ本調子ではないので、目の前の仕事をしっかりこなすことが次に繋がると考えています。中部支部漁業士会も、役員、会員の皆様と協力しながら、盛り上げられるよう頑張りたいです。

旬な漁業の現場から ～会員の取組を紹介します～

はじめ 佐藤 一 青年漁業士 (JFみやぎ雄勝町雄勝湾支所所属)

佐藤一青年漁業士は、雄勝地区でギンザケ養殖に従事しています。国の“がんばる養殖復興支援事業”を活用しながら、いち早く水揚げを再開し地域の重要な産業であるギンザケ養殖を牽引しています。佐藤さんは水揚げしたギンザケを一尾一尾活け締めし、品質の向上に努めるなど、消費者に安全・安心で新鮮なギンザケを届けるために、日々努力しています。

今漁期は、ギンザケの生育が好調で、価格も比較的高値で推移しています。今後水揚げが本格化しますが、全国第 1 位の生産量を誇る宮城県産ギンザケを全国の皆さんに広く食べていただきたいものです。

※下記は、出荷前の選別作業の様子です。



佐藤 一 青年漁業士 (平成 12 年第 98 号青年認定)



元気よく泳ぐギンザケ



熟練した技術で選別



佐藤青年漁業士を中心に手際よく作業されていました。



浜情報 ～震災後初の養殖ホヤの水揚げが始まりました！～

震災後に人工及び天然で採集した種を使い、手間をかけて大きく育てたホヤが、震災から 3 年経って、ようやく水揚げに至りました。

JF みやぎ女川町支所竹浦ホヤ部会では、国のがんばる養殖復興支援事業を活用し、8 経営体がグループ化して、養殖作業を共同で行っています。韓国の輸入規制等、ホヤ養殖を取り巻く状況は厳しいですが、竹浦ホヤ部会では、待ってくれた消費者に美味しいホヤを届けたいと日々頑張っています。

水揚げは夏頃まで続きますが、今後、一層身入りが良くなり、旨味が増してきます。今後の順調な生産が期待されます。



生育は順調です



共同作業は慣れた様子

事務局からのお知らせ

◆東北・北海道ブロック合同漁業士研修会及び東日本女性漁業士交流会が本県で開催されます◆
本県漁業士が幹事となり、6月26日～27日に松島町で開催されます。他県の漁業士の方々と知り合う貴重な機会ですし、今後の生産活動に役立つ繋がりも得られることが期待されますので、会員の皆様は、奮って御参加ください。

◆人事異動により事務局職員が入れ替わりました◆
今年度は、高橋昭治、杉田大輔、鈴木隆史、田北寛奈(大分県応援)、鈴木矩晃、高橋香の 6 名で担当して参ります。引き続き、会員の皆様のごところに、突撃取材を行って参りますが、その際は御協力よろしくお願いたします。

【追伸】
今年 1 年間、事務局 6 名皆様にお世話になります。よろしくお願いたします。さて、新緑の季節を迎えていますが、この季節になると楽しみなのが今回の記事でも紹介している「ギンザケ」「ホヤ」といった旬の水産物を食べることです。特にホヤは震災後初めて水揚げされていますが、地元スーパーにも並んでいたため、早速購入し何とも言えないホヤの独特な味を堪能しました。これから毎年この味を楽しめると思うと嬉しくなります。《事務局 T》

宮城県漁業士会中部支部事務局
(宮城県東部地方振興事務所水産漁港部水産振興班)
〒986-0812
石巻市東中里 1 丁目 4-32 石巻合同庁舎 4 階
TEL 0225-95-7914 FAX 0225-96-2698